

松田曜子（まつだ・ようこ）

[略歴]

2007年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同防災研究所にて、地域コミュニティでの災害に対する備えに関する研究に従事。2005年よりレスキューストックヤードのインターンとして、名古屋市東山学区の「地域防災力診断シート」の作成や分析等に携わる。2007年より同事務局／震災がつなぐ全国ワーク事務局スタッフ、2009年より事務局長。能登半島地震・新潟県中越沖地震の被災地支援、および石川県穴水町の商店街復興事業に携わる。また地域での災害対策を中心に活動を行っている。博士（工学）。



[被災地支援活動]

・能登半島地震（2007年）

5月、延べ約10日間にわたり穴水町災害ボランティアセンターでの活動。仮設住宅の引越し準備、訪問活動など。

6月～現在、穴水町商店街の復興支援活動（月1回以上の訪問）。

・新潟県中越沖地震（2007年）

7～8月、延べ約30日間にわたり刈羽村災害ボランティアセンターで活動。避難所班として避難所の見守り活動。うるうるパック等の配布。のちに仮設住宅への引越し支援等。

10月、せともの市開催。

・宮城・岩手内陸地震（2008年）

7月、栗駒耕英地区での交流会支援

・8月末豪雨（2008年）

8月、なごや災害ボランティア連絡会の一員として1週間、被災地支援活動。

[寄稿等(近著)]

復興の可視化「クロス」に刻まれた記憶，復興デザイン研究，第7号，日本災害学会復興デザイン研究会，2008. http://snow.nagaokaut.ac.jp/fukkou_design/

頑張れ能登 ボランティアの便り1 見て感じた被災地，中日新聞 2008年3月13日付.

<http://www.chunichi.co.jp/article/ishikawa/toku/genba/CK2008031302095009.html>

地域防災における事業所の役割，自主防災，201号，財団法人東京防災指導協会，2008. http://www.syoubounet.jp/tokyo/b1_5.html

[学位論文]

低頻度大規模災害に備えることを目的としたリスクコミュニケーション手法に関する研究（2007年3月・京都大学大学院工学研究科）

[査読付論文（近著）]

Bajek, R., Matsuda, Y. and Okada, N.: Japan's Jishu-bosai-soshiki community activities: Analysis of its role in participatory community disaster risk management, *Natural Hazards*, Vol.44, No.2, pp.163-168, 2008.

松田曜子，岡田憲夫：複数主体が参加する地域防災の場における「地域防災力診断シート」の尺度構成と活用，安全問題討論会'06 論文集，Vol.1, pp.31-36, 2006.

Matsuda, Y. and Okada, N.: Community Diagnosis for sustainable disaster preparedness, *Journal of Natural Disaster Science*, Vol.28, pp.25-33, 2006.

松田曜子，岡田憲夫：災害の間接的経験と家庭での地震の備えの関連性分析，土木計画学研究・論文集，Vol.23, No.2, pp.243-252, 2006.